

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



岡山県原水協通信

2009年3月10日 No.75
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

「核兵器のない世界を」賛同署名相次ぐ

「後の世代に負の遺産は残したくない!です。」 児童文学作家 八束澄子氏

玉野市長

児童文学作家

倉敷市文化連盟会長

黒田 晋

八束澄子

室山貴義

岡山民俗学会名誉理事長

反核医師の会世話人/湯原医院院長

岡山県生協連会長理事

立石憲利

湯原淳良

安場 靖 さんなど

岡山県原水協は、「核兵器のない世界を」署名県民20万筆をめざし運動を進めています。

署名推進のために、県内の著名な人々に賛同とメッセージを寄せていただくよう要請していますが3月9日現在30名の方々から賛同署名とメッセージが事務局に届いています。

事務局では2月下旬に県内の全自治体の首長・議長、

病院院長、教育関係者、岡山空襲平和資料館開設呼びかけ人、岡山9条の会呼びかけ人合わせて165人に「核兵器のない世界を」署名の賛同と、メッセージの依頼、名前の公表をお願いしました。

事務局には連日賛同の署名が届いています。3月9日現在30名になりました。(紙面の都合で第一次分として発表します)

自治体関係者

賛同いただいた方々とメッセージ 第1次分

- * 黒田 晋 (玉野市長)
 - * 杉 修次 (新見市議長)
 - * 山縣喜義 (高梁市議長)
 - * 高見晴之 (矢掛町議長) 「核兵器のない世界をの運動大変ご苦労さまです。今後とも続けて下さい。賛同します。」
 - * 高田正弘 (井原市議長) 「核兵器のない世界を希望します。」
 - * 山崎親男 (鏡野町長) 「核兵器のない世界を実現しましょう」
 - * 大神式之 (美咲町議長)
- * これ以外に浅口町議会事務局より6筆の署名が届きました。



教育関係者

- * 稲垣賢二 (岡大大学院教授) 「核兵器のない世界をつくることは科学者の責務です。」
- * 森滝健一郎 (岡大名誉教授) 「一日も早く『核兵器のない世界を』実現したいものです。その実現を妨げる要因を取り除くことによって」
- * 竹内和夫 (岡大名誉教授) 「悪魔の兵器をすぐに世界から追い出そう」
- * 奥山桂 (元岡山市教育長) 「我々日本人はこの運動の先頭に立つ責任があると考えています。」
- * 岩佐仁志 (岡山高教組委員長)
- * 難波一夫 (子育て教育何でも相談ネットワーク) 「子どもたちの未来のために則核兵器のない世界の実現を!」
- * 白井浩子 (岡大准教授・日本科学者会議会員) 「歴史の創造に参加します。」

生協・文化人

- * 安場靖 (県生協連会長理事) 「よりよい暮らしの前提は平和であること、人類の平和と共存できない核兵器は一刻も早く一つ残らずなくそう!」
- * 杉山信義 (倉敷医療生協理事長) 「平和と命を守るため、核兵器廃絶を望みます。」
- * 浪尾淑子 (岡山医療生協理事長)
- * 湯原淳良 (湯原内科医院院長、反核医師の会世話人)
- * 室山貴義 (倉敷市文化連盟会長) 「温暖化等による『地球の危機』が叫ばれていますが、それ以上に怖いのが『核による全面戦争』です。一つの国の血迷ったリーダーが核のボタンを押した瞬間、それが始まります。」
- * 立石憲利 (岡山県民俗学会名誉理事長) 「『昔、核兵器というものがあったそうな』核兵器が昔話になるときを、一日も早く到来させるため、力を合わせましょう。」
- * 星島淑子 (箏曲演奏家) 「どうして領土争いをし、人を殺しあうのか? 自分の家族が・・・と思うと絶対許すことはできません。男に任せると闘いが好きな人間が多い、女性に交渉をまかせてください」

